

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
1. 現状の概要と今後の方向性	地区協会 事業委員会 連盟
<p>毎年、アルビレックス新潟の運営協力をいただきながら、天皇杯のアルビレックス新潟戦をデンカビッグスワンスタジアムで開催している。リーグ戦との兼ね合いから平日開催となる場合が多く、例年観客数は2,000人～4,000人で推移している。</p> <p>また、数年に1回のペースで日本代表戦を天皇杯同様アルビレックス新潟から運営協力をいただき、開催している。天皇杯の観客数増に向けて、これまでの県協会登録チームへのチケット斡旋をより登録チームにメリットがある方法を検討するとともに、アルビレックス新潟との協力方法についても検討していくことが必要である。</p> <p>これまでの中期目標であった2018年目標の対しての達成度や現状、今後の長中期目標に対する現状の概要、今後の大まかな方向性などについて書いて下さい</p>	

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
2. 中期目標（2030年）	地区協会 委員会 連盟
<p>毎年、天皇杯2回戦から4回戦のアルビレックス新潟の試合をデンカビッグスワンスタジアムで開催し、1万人以上の観客数となる。</p> <p>毎年、日本代表戦をデンカビッグスワンスタジアムで開催する。</p>	

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
3. 長期目標（2050年）	地区協会 委員会 連盟
<p>毎年、天皇杯2回戦から4回戦のアルビレックス新潟の試合をデンカビッグスワンスタジアムで開催し、1万人以上の観客数となる。</p> <p>毎年、日本代表戦をデンカビッグスワンスタジアムで開催する。</p> <p>日本でFIFAワールドカップが開催される場合は、デンカビッグスワンスタジアムで日本代表戦を開催する。</p>	

NIFAアクションプラン2018→2022					全体 頁中の 頁
4. 現状分析					地区協会 事業委員会 連盟
No. と 事項	2022年具体的目標	2018年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1 普及	天皇杯のアルビレックス新潟戦の観客数1万人	天皇杯のアルビレックス新潟戦の観客数約2,500人	25%	<登録チームへの効果的なチケット案内>  <アルビレックス新潟との観客数を増やすための連携>	アルビレックス新潟との連携強化
2 普及	日本代表は2年の1回の割合で開催する	日本代表戦を4年ぶりに開催	50%	<日本代表戦の県協会としての運営能力の向上>  <新潟県、新潟市など関係団体との連携>	JFAへの積極的な働きかけ  自治体との連携強化
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2022年目標に向けての2018年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

## 5. 具体的アクション

事業委員会  
連盟  
地区協会

No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
1 普及	事業委員会が	機会を見て	アルビレックス新潟と	天皇杯の集客アップを	検討する。
2 普及	県協会幹部が	機会を見て	日本協会で	新潟県での代表戦開催を	働きかける。

↑現状分析での事項No.に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です